

察 彊 角



鳥根県立松江工業高等学校

島根県立松江工業高等学校自彊寮

そこは、閑静な住宅街にあった。裏門を抜けて、南へと続く市道を行くと、小学校、幼稚園、公民館と続く、文教地区である。古志原の名を今に伝えるものは、緩やかな斜面に残された、畑ぐらいであろう。遠い昔、荒れ野と里山でしかなかったこの地も、今や続々と新しい家が建つ、新興住宅地となってしまった。北へ歩けば10分もかからない所に、銀行や郵便局、スーパーやコンビニまで並び、432号線がそれを貫き、9号バイパスが駆けぬける。街の喧噪が、そこにはある。しかし、ここまでは届かない。子供連れやお年寄りが、静かに散歩する町でしかない。

市道がT字路となって分岐する所に、遠い所でも対岸まで50mはないであろう、ちょっとした池がある。香の木池である。多分、かつての溜池であろう、残された鯉達がそれを物語る。道行く人が気ままに投げ入れる餌に集まる数は、かなりのものである。冬場には、水鳥達の姿も美しい。

そんな池の畔に、それは建っていた。長い歴史と伝統を見せびらかすでもなく、唯静かにひっそりと、語りかける様に建っている。ややクリーム色を帯びた白い姿が、陽の光を浴びて、待っている。

そう、ここが、僕の始まり。自彊寮。

島根県立松江工業高等学校 寄宿舎 じきょうりょう 自彊寮

工 期	着 工：昭和60年9月22日	竣 工：昭和61年3月25日
建 設 費	総工費：1億7,670万円	
建物延床面積	878㎡	
住 所	〒690-0012 松江市古志原4丁目6番37号	
電 話 番 号	0852-21-4085, 050-1419-4085	
メール・アドレス	xxstk452@ybb.ne.jp	
ホーム・ページ	http://www.shimanet.ed.jp/matsue-th/ (本校のHPにあります。)	

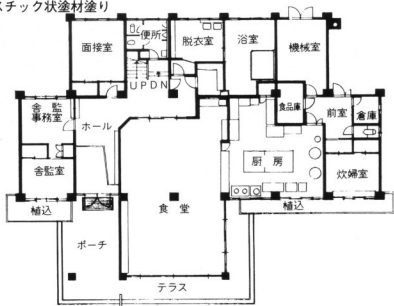
沿革	昭和8年	新 設	松江市大正町 木造2階建 739㎡ 定員 約50名
	昭和34年2月	新 築 移 転	松江市古志原550 (本校校地内) (町名変更で、現在は、古志原4丁目1番10号) 木造2階建 1,736㎡ 4人部屋 25室、6人部屋 8室、計33室 定員 148名
	昭和61年3月	新 築 移 転	松江市上乃木町1,878-3 (町名変更で、現在は、古志原4丁目6番37号) 鉄筋コンクリート造3階建 878㎡ 4人部屋 13室 定員 52名

建物概要

構造 鉄筋コンクリート造 3階建

仕上 外部 コンクリート打放シ マスチック状塗材塗り

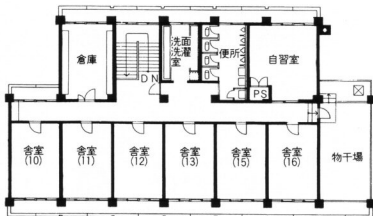
1 階平面図

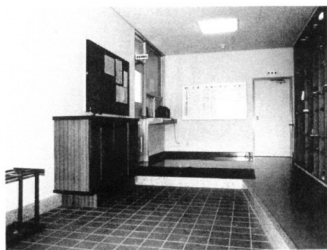


2 階平面図



3 階平面図





—玄 関—



—食 堂—



—舎 室—
(勉強机)



—舎 室—
(二段ベット)



—自 習 室—



—洗面、洗濯室—

島根県立松江工業高等学校

自彊寮 (寄宿舍)

ガイド・マップ

